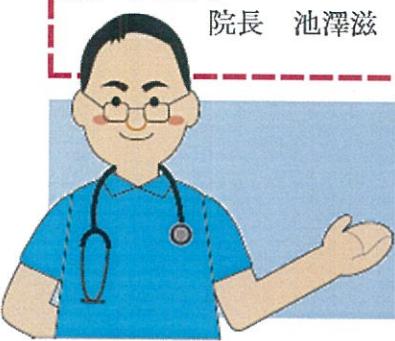




☆おしらせ☆

いよいよ冬らしくなってきました。今月よりLINEの登録をして頂いた方に、ワクチン終了後トイレットペーパーをプレゼントさせていただきます。
休診や、ワクチン入荷のお知らせなどLINEを使っていきますので是非登録お願いします。

院長 池澤滋



感染症情報 9/24~10/28

病名	前回	今回
アデノウイルス	5	5 —
溶連菌感染症	6	18 ↑
感染性胃腸炎	46	40 ↓
水痘(水ぼうそう)	3	3 —
ヒトメタウイルス	7	0 ↓
手足口病	12	20 ↑↑
RSウイルス	27	15 ↓
突発性発疹	14	8 ↓
おたふくかぜ	0	1 ↑
インフルエンザA	2	0 ↓
ヘルパンギーナ	30	27 ↓
キャンピロ	0	2 ↑

住所：合志市野々島2461 (ユーバレス弁天 北側)

TEL : 096-242-6633

診療時間：9:00～ /14:00～18:00

休診日：木曜・土曜午後・日曜祝

URL : <http://www.ikezawa.org/>

WEB予約：<http://ssc.doctorqube.com/ikezawa/>

LINE@

流行情報、休診のお知らせ、ワクチン入荷など、気になる情報をLINEでお届けします。ぜひ、お友だち登録をお願いします！

►LINEのID検索から

@rx138470



▲ホームページ

▲WEB予約

自由に動きたい！

10月のある夜、何となく左足の付け根が痛い。筋膜リリースという本を読んだばかりで、今までテキトーだったストレッチを念入りにし始めた2日目だった。開脚し過ぎたカモ(ーー;)私は普段よりも早めにベットに入った。しかし、夜中に痛みはどんどん増して、翌朝激痛で起き上がり難く、機能病院を受診することに。学会やゴルフで半年先まで予定が詰まっているのに、台風の影響でたまたま夫が家にいたことで助けられた。病院に着くと夫は正面玄関に私を降ろし駐車場へ。そこに立ち尽くすわけにいかず、私はまるでやっと歩き出した1歳児のように右足と左足を交互に前に出す。それを見た機能病院のスタッフが慌てて車いすを持ってくれた。そういうえば遠い昔、看護学校の実習でふざけて乗ったなー・・マジでお世話になるなんてあの頃は想像もしなかったが車椅子の在り難さを痛感したのだった。診察して予想通りレントゲン室まで移動。広い病院はとにかく移動移動だ。夫がずっと車いすを押してくれる。いつか本当にこんな姿になっちゃうのかな?いつまでも自分で歩きたいし走れる体でいたいのに(;▽;)もしかしたら手術??今まで考えていたが、結果は大腿骨の付け根が炎症を起こしているらしく、医師は「強い痛み止めを出します」と呆気なく診察終了。

大げさに考えていた不安が一気に吹き飛んで「クスリ、クスリ」私はちょっと危ない



人のように早速クスリを飲んだ!薬の力は偉大である。30分後、恐ろしく効いてきた!しかし効いてきたからこそその副作用がすごい。痛みと引き換えに、今度は睡魔との闘いだ。とにかく眠く体がふわふわと浮いてくるような感覚。麻薬ってこんな感じ?って感じ(±_±)。家事ができないのは勿論、本も読めない。何もできない一日って何なんだ(;▽;)生きてる感じがしない!痛い痛いと騒ぎクスリをもらって、治ったらイチャモンをつける私に夫も娘も呆れていた。



ランニングや筋トレをやり過ぎてここ数年整形には何かとお世話になる。その度に不自由さを体感し、いつか訪れるかもしれない機能障害を思い描く。今回寝返りは勿論、座っていても右を向くこと、左に向かうことをすることができない困難な状況で、『自由に動けるって素晴らしい!』と改めて感じ、元の体に戻れた自分に安堵した。このまま障害が残ったとしたら……

小さな子どもがいなくて良かった…と思った途端サクタロウが脳裏を震める。そうだこれからもサクの散歩をする為に、いや、右を向いたり左を向いたりしたい!「熊本城マラソン」は



3年連続落選してしまったけれどハードなことは慎みなさいとの神のお示しだと受け止めよう。結局、不良患者の私は処方された薬をたった1回しか飲まなかったが奇跡のように治ってしまった。大きな病気もせずに立ち直りが早いのはいつものパターン(▽`*ゞ)エヘ

それにしても今月50歳を迎える。ケガや病気を繰り返しながらも何とかここまでできた自分に拍手~~!!

文責 池澤千恵子